

平成30年度 事業報告書

社会福祉法人 以和貴会

平成 30 年 度 事 業 報 告

施設名：特別養護老人ホーム 聖徳荘

1. 運営方針

『安全そして安心』の基本理念の基に、利用者個人の尊厳を尊重し、利用者が有する残存能力や健康状態に応じた生活を営むことができるよう、『尊敬・感謝・奉仕』の気持ちを持ち、常に利用者の立場に立ったサービスを提供するよう努める。また、利用者が安心して、楽しく生活できるよう個別支援に努める。

2. 事業方針

(1) 介護支援

基本方針	利用者及び家族のニーズを把握し、ニーズに基づく個別のサービス計画書を作成するとともに、適切な介護支援を行い、利用者の生活の質が向上するように努める。	
	重点目標（・実施計画）	※ 実 施 報 告
	1. 個別のケアプランを担当介護員とともに多職種協働で作成する。 （・多職種協働で作成し、サービス内容を十分理解しながら適切な介護支援を行い、介護サービスの向上に努める。）	※入所者個別のケアプランを担当職員と共に他職種協働で作成した。 ※入所者と関わる介護員や看護員との情報共有、共通理解を深め、サービス内容の向上に努めた。
	2. 研修に参加し、スキルアップを図る。 （・自らのケアプラン作成・実施状況について評価し、利用者の生活の質を高めるケアプランの作成、実施に努める。）	※施設介護支援専門員研修に参加し、介護支援のスキルアップ、他施設職員との情報共有に努めた。 ※ケアプラン作成、実施状況の評価し、ケアプラン内容の向上に努めた。

(2) 生活相談

基本方針	介護状態の重度化により病態が増悪した入所者が増え、職員としても多種多様な対応が必要となってきていることから、この対策を重点目標とする。	
	重点目標（・実施計画）	※ 実 施 報 告
	1. 身体状態の重度化に伴う対策について （・身体状況の重度化が進んできていることから、ご家族との連絡や医療機関との連携がより必要となるため、きめの細かい連絡調整を迅速に行い、他の施設職員とも連携を図りチームで対応できるような構造を作る。）	※病態の急変時または憎悪が予見できる場合は、嘱託医師から家族へ病状の説明を行い、医療機関への入院や受診を速やかに行うことができた。
	2. 入所稼働率の安定化を図る。 （・利用者の重度化により入所期間が短くなることから、スムーズな利用がはかれるよう、施設職員の考え方を統一し、迅速な調整を図れるようにする。）	※11月以降、退所者が集中するなど入所の調整に苦慮することが多く、入所稼働率が昨年度比0.9の減少が見られた。

(3) 健康管理

基本方針	利用者の健康状態を的確に把握するとともに、嘱託医師との連絡を密にし、健康管理の徹底強化と疾病の予防に努める。	
	重点目標（・実施計画）	※ 実 施 報 告
	1. 入所者の健康状態の管理 （・医師・看護・介護の連携のもと、入所者一人一人のバイタルサインと体調チェックをし、早め早めの対応をする。）	※医師・看護・介護・相談員・ケアマネとの連携のもと、入所者一人一人のバイタルチェックと体調チェックをし、早め早めの対応をした。
	2. 誤嚥の防止 （・食前体操を行い口腔機能を高めるとともに経	※食前体操を行い、口腔機能を高め、また、経管栄養者の入所者に対しても口腔体操

管栄養者の利用者に対しても口腔体操を行い、誤嚥防止に努める。）	を行い、誤嚥防止に努めた。
3. 転倒防止 (・機能訓練を行い筋力の低下を防ぎ、転倒防止に努める。)	※機能訓練を行い、筋力の低下を防止、維持出来るよう努めた。

(4) 給食

基本方針	利用者の健やかな老後のため、食を通じて健康の維持・増進を図り、季節の行事食などから楽しく豊かな生活を過ごしていただく。	
	重点目標（・実施計画）	※ 実 施 報 告
1. 健康の維持・増進のため、個々の適切な栄養管理を図る。 (・栄養ケアマネジメントの実施により、リスク状況を把握し、他職種とともに低栄養防止や改善に努め、個々の健康維持・増進を図る。)		※毎月栄養ケアマネジメントを実施し多職種と共に利用者一人一人のリスク状況を把握し適切な食事提供に努めることで健康維持・増進に努めた。
2. 個々のQOL（生活の質）の向上に努める。 (・個々の嗜好にあわせて、代替食を提供したり、月2回の行事食を実施し、季節感のある豊かな食生活を過ごしていただく。)		※入所時に嗜好調査を実施し、食べられない物があれば代替食を提供した。また、月に2回程度行事食として、季節を感じていただけのような食事提供に努めた。

(5) 職員

基本方針	職員の健康管理に留意するとともに、職場内外の研修に積極的に参加し、専門職としての知識・技術及び資質向上に努める。	
	重点目標（・実施計画）	※ 実 施 報 告
1. 専門職としての資質向上に努める。 (・各研修会に積極的に参加する。) (・資格取得に努める。)		※各種団体主催研修に参加し、資質向上に努めた。 (末頁「研修会参加一覧」をご参照ください。)
2. 健康管理に留意する。 (・定期健康診断の実施結果をもとに自己管理を呼びかける。) (・インフルエンザ予防接種を実施し、疾病の予防に努める。)		※健康診断・インフルエンザ予防接種を実施し、健康の留意を働きかけ、疾病の予防に努めた。

(6) 苦情処理

基本方針	苦情発生の状況をいち早く察知し、迅速な対応ができるよう、職員全体で取り組んで行く。	
	重点目標（・実施計画）	※ 実 施 報 告
1. 基本的なミス等による苦情をなくす。 (・不適切な言葉づかいによる苦情発生をなくすため、接遇研修に職員が参加できるような機会を設ける。)		※基本的なミス等による苦情の発生はなかった。また、接遇研修への参加ができなかった。
2. 苦情発生の際に迅速な対応を行う。 (・苦情が発生した場合、原因を明確にし、職員で情報の共有化を図るとともに、苦情発信者に対しては迅速・丁寧な対応を心掛ける。)		※苦情の発生はなかったが、苦情発生に備え研修等の参加に努めたい。

(7) 事故防止

基本方針	事故発生の原因の考察と対策を迅速に行い、ケアプラン等において対策の共有化が図れるような体制を構築する。	
	重点目標（・実施計画）	※ 実 施 報 告
1. 事故発生の原因の考察を行う。 (・事故がどうして発生したかの事故発生メカニ		※保健委員会において、事故発生の原因についての検討を行った。

ズムをチームで考え、事故の原因となるものの改善対策を行う。)	
2. 事故対策としてのケアプランの活用 (・ケアプランに事故対策を盛り込むことにより、ご家族に事故の対策を周知するとともに、職員への情報の共有化を図る。)	※同様の事故が発生した場合は、ケアプランを活用し、同一事故を防げるよう事故対策を行った。
3. 状態の重度化に伴う対応について (・状態が重度化する傾向にあるため、家族の治療のニーズを捉え、医師・看護師・ケアマネジャー・介護員・生活相談員等の連携を密にし、早急に医療機関へ受診または入院できるよう対応する。)	※医療機関の受診や入院時の対応を速やかに行うことができた。

(8) 施設防災

基本方針	火災・自然災害または原子力災害の発生を想定し、防災訓練を実施する。	
	重点目標 (・実施計画)	実施報告
1. 防災訓練の実施 (・消防計画に沿って避難訓練を実施し、職員に対し防災に対する意識づけを行う。)		※消防計画に基づき予定通り避難訓練を実施した。
2. 原子力災害マニュアルの策定 (・原子力発電所等における原子力災害が発生した場合の避難マニュアルを策定し、県・市との協働により速やかな避難ができるよう職員間での知識の共有化を図る。)		※福島県原子力災害避難計画ガイドライン及びいわき市原子力災害対応ガイドブックに沿って策定を検討している。

(9) 介護

基本方針	利用者一人一人が安全な生活を送ることができるよう、情報収集を行い、サービス提供できるよう努める。	
	重点目標 (・実施計画)	※ 実施報告
1. 情報の共有 (・日々変化する利用者の情報交換を積極的に行い、円滑にサービス提供できるよう努める。)		※各自が情報の発信・収集を積極的に行い、サービス提供につなげることができた。
2. 介護技術向上 (・介護技術・専門知識向上のための研修に参加する。)		※介護業務に必要な研修に参加し、日々の業務改善、技術の向上に役立てることができた。

<各ユニット>

ユニット名	目標 (・実施計画)	※ 実施報告
山の都	1. 毎日充実した生活を送る (・レクリエーション活動や機能訓練に積極的に参加していただく。) (・利用者とのコミュニケーションを密に図る。)	※各利用者の体調に合わせ、無理のないよう参加していただくよう努めた。 ※声掛けを多くし、コミュニケーションが図れるよう努めた。
	2. 身体の清潔保持・感染の防止 (・一行為一手洗いで、感染予防に努める。) (・入浴実施にて、清潔保持に努める。)	※各職員が、一行為一手洗い消毒を心掛け、感染予防に努めた。また、利用者の衣類やリネンが汚れたらすぐ交換するよう心掛け、清潔保持に努めた。
季の都	1. 清潔保持の徹底及び感染防止 (・オムツ交換後又は介助後は手洗い・消毒を行う。) (・職員・利用者共に常日頃からの予防に努め感染予防する。)	※一人一人が感染予防の意識が高められるよう、手袋の着用や声掛けを行った。また、介助後の手洗い・消毒を細目に行った。

	<p>2. ユニット内及び各居室の整理整頓を行う (・車いす自操時の接触事故や、各居室における荷物などにより起こりうる怪我又は事故がないよう環境を整える。)</p>	<p>※車いす自操者をはじめ、介助者にも動けるスペースを確保することで、事故防止にもつながった。整理整頓も行うよう心掛けた。</p>
海の都	<p>1. 身体の清潔保持と感染予防の徹底 (・清潔な衣類を身につけ、おむつ交換・入浴介助を通して、身体の変化を観察する。) (・一行為一手洗い消毒をして、感染予防に努める。)</p>	<p>※排泄介助・入浴介助時、体の変化を観察し、スキントラブル防止や異常の早期発見に努めた。 ※職員が媒介者にならないよう、手洗い消毒を行い、マスクを着用し感染防止に努めた。</p>
	<p>2. ユニットの美化に努める (・ホール内の整理整頓を心がける。) (・季節に合わせて装飾を行い、利用者に季節を感じていただく。)</p>	<p>※ユニット内の整理整頓を行い、事故防止や気持ちの良い空間になるよう努めた。 ※季節に合わせた装飾を行い、お茶会等の行事を実施し楽しい時間を過ごしていただけるよう心掛けた。</p>
花の都	<p>1. ADL (日常生活動作) 低下防止 (・残存機能を日常生活の中で生かせるように努める。)</p>	<p>※利用者にレクリエーション参加への声掛けを行った。また、車椅子が自操できる利用者へは荘内の散歩を促した ※排泄時や移乗時、衣服の着脱等でも協力動作の声掛けを行い、職員と一緒にいった。</p>
	<p>2. 清潔保持 (・身の回りや服装など、常に清潔を保てるよう努める。)</p>	<p>※衣類等汚れに気づいたら、その都度新しい物に交換し、手洗いや爪切りも細目に行った。</p>
森の都	<p>1. 身体の清潔保持と感染予防の徹底 (・衣類交換をこまめに行い、常に清潔な衣服を身につける。) (・おむつ交換・入浴介助を通して身体の変化を観察する。) (・一行為一手洗い消毒を徹底し、感染を防ぐ。)</p>	<p>※家族に協力を得て、サイズや季節に合った衣類を身に着けて頂けるよう努めた。 ※排泄や入浴介助時に身体の状態を確認し、清潔に保てるよう努めた。 ※職員自身も体調管理を行い、感染の媒介者にならないよう努めた。</p>
	<p>2. ADL (日常生活動作) 低下の防止に努める (・レクリエーション活動・機能訓練活動に積極的に参加を促す。) (・体調の変化に注意し寝たきりを防止する。)</p>	<p>※毎月行うユニット行事や機能訓練に参加していただき、ADL低下の防止に努めた。 ※体調、感情の変化に注意し、各部署との情報を共有し対応出来るよう努めた。</p>
空の都	<p>1. 身体の清潔保持・感染予防 (・常に清潔な衣類を身につけ、清潔保持に努める。) (・一行為一手洗い消毒を徹底し、感染を防ぐ。)</p>	<p>※衣類を清潔にすることで身体の清潔を保つことができた。 ※手洗い消毒を行い、感染を予防することに努めた。</p>
	<p>2. ユニット内整理と美化・環境整備 (・各居室内・ホールを整理整頓し、落ち着いて生活できる環境を作る。) (・季節を感じられる飾り付けをし、目で楽しめるユニットにする。)</p>	<p>※ホールや居室の整理整頓、テーブルや椅子の配置に気を配り車椅子の通れるスペースを作り、転倒予防に努めた。 ※季節に合わせた装飾を行った。</p>

平成 30 年 度 事 業 報 告

施設名：特別養護老人ホーム 聖徳荘

(短期入所生活介護事業・介護予防短期入所生活介護事業)

<p>運営方針</p>	<p>利用者ひとりひとりの心身の状況に応じた介護を行い、「安全そして安心」で安らぎのある生活を送ることができるよう支援するとともに、地域に貢献し信頼され選ばれる施設であるよう努める。</p>
<p>重点目標（・実施計画）</p>	<p>※実施報告</p>
<p>1. 利用者が不安なくサービスを利用し、在宅生活が継続できるような質の高いサービスの提供に努める。 (・補助事業により福祉車両を1台購入することにより、利用者送迎の充実化を図る。) (・丁寧な声かけ等で和やかな雰囲気を作り、不安が少なくするような環境作りに努める。) (・利用者の身体・精神状況にあわせた介護、生活の継続性を意識した質の高いサービスを提供する。) (・各家庭環境・利用者の背景を考慮し可能な限り利用者・家族のニーズに応えられるよう務める。)</p>	<p>※不安なく利用できるような和やかな雰囲気作りに努めた。 ※自宅に戻ってのからの生活を意識した介護の提供ができた。 ※家庭の環境や利用者の状況を考慮し、求められたニーズに応えることができた。</p>
<p>2. 利用者や地域から信頼され選ばれる施設を目指す。 (・利用者の状況とハード面における危険箇所を把握し、事故を予防して安全に生活していただく。) (・苦情発生時は、迅速に誠意を持って対応し、改善対策を検討し再発防止に努める。 (・不安や悩みを気軽に相談できる環境を作り、適切な助言・援助ができるよう努める。</p>	<p>※転倒のリスクの注意不足があり骨折事故が2件発生してしまった。 ※特に大きな苦情はなかったが、苦情発生時には迅速に対応するよう努めた。 ※利用者や家族と会話を多くして、気軽に相談できる環境を作り、助言や援助ができた。</p>
<p>3. 給食 健康の維持・増進のため、利用者への適切な食事提供に努める。 個々のQOL（生活の質）の向上に努める。 (・利用者の健康状態に合わせた適切な栄養量・食事形態などを考慮し、食事提供する。 (・利用者の嗜好に合わせ、代替食を提供したり月2回の行事食などから、季節感のある豊かな食生活を過ごしていただく。)</p>	<p>※利用時は必ず健康状態や嗜好調査などの食事箋の指示に従い適切な食事提供をし、食べられない物は代替食を提供した。 ※行事食を月2回実施し、季節を感じ楽しんで食べていただけるように努めた。</p>

平成 30 年 度 事 業 報 告

施設名：デイサービスセンター 聖徳荘
 (地域密着型通所介護事業・介護予防日常生活支援総合事業)

<p>運営方針</p>	<p>在宅の要介護者・要支援者へ通所介護サービスを提供することにより、利用者の心身機能の維持向上、社会的孤立感の解消等を図るとともに、安定した在宅生活を助長し、その家族等介護者の精神的、身体的な負担の軽減を図る。</p>	
<p>重点目標(・実施計画)</p>	<p>実施報告</p>	
<p>1. 利用者のニーズに応じたサービスの提供と介護者の介護負担の軽減 (・家族や居宅介護支援事業所等と連絡を密にし、利用者の状態を把握し、利用者が希望し必要とするサービスを提供する。) (・介護者の介護負担軽減につながるサービスを提供する。) (・季節に応じた行事等を行い、四季を感じ、また生きがいを感じられるようサービスの提供に努める。) (・定期的にケアカンファレンスを行い、多職種協同で通所介護計画書を作成し、見直し改善を図り、利用者の状態に合ったサービスを提供する。)</p>	<p>※家族や居宅介護支援事業所等と連絡を密に、利用者の状態把握、情報共有を図り、利用者が希望し必要とするサービスの提供に努めた。 ※介護者の介護負担軽減につながるサービスの提供に努めた。 ※レクリエーション等内容の充実を図り、楽しく過ごせる時間の提供と、季節に応じた行事等を行い、四季を感じ、生きがいを感じられるようなサービスの提供に努めた。 ※定期的にケアカンファレンスを行い、多職種協同で通所介護計画書を作成し、見直し改善を図り、利用者の状態に合った、サービスや個別機能訓練の提供に努めた</p>	
<p>2. 研修等への積極的な参加 (・施設外研修に積極的に参加し、研修報告の勉強会を開催するなどして、知識及び技術の向上に努める。)</p>	<p>※積極的に研修に参加することができ、報告会を開催するなど、知識及び技術の向上に努めることができた。</p>	
<p>3. 苦情処理の対応 (・利用者及び家族等から苦情があった場合には直ちに対処するとともに、苦情解決委員会設置要綱に基づき、速やかな解決に努める。)</p>	<p>※利用者及び家族等からの苦情には直ちに対処するとともに、苦情解決委員会設置要綱に基づき、速やかな解決に努めた。</p>	
<p>4. 事故対応 (・事故が発生した場合は、マニュアルに基づき速やかに対処し、解決に努める。) (・事故が発生した場合には、事故のシミュレーションによる検討を行い、再発防止につなげる。)</p>	<p>※事故の発生には、マニュアルに基づき速やかに対処し、解決するように努め、シミュレーションによる検討会を行い、再発防止に努めた。</p>	
<p>5. 給食 健康の維持・増進のため、利用者への適切な食事提供に努める。 個々のQOL(生活の質)の向上に努める。 (・利用者の健康状態に合わせた適切な栄養量・食態などを考慮し、食事提供する。) (・利用者の嗜好に合わせ、代替食の提供、月2回の行事食など、季節感のある豊かな食生活を過ごしていただく。)</p>	<p>※利用時は、必ず健康状態や嗜好調査などの食事箋の指示に従い適切な食事提供や又代替食を提供し、月平均2回の行事食も実施して食べて頂いた。</p>	

平成 30 度 事業 報告

施設名：デイサービスセンター 聖徳荘

(認知症対応型通所介護事業・介護予防認知症対応型通所介護事業)

<p>運営方針</p>	<p>認知症の診断を受けている要介護者・要支援者へ通所介護サービスを提供することにより、利用者の心身機能の維持向上、社会的孤立感の解消等を図るとともに、安定した在宅生活を助長し、その家族等介護者の精神的、身体的な負担の軽減を図る。認知症に対する専門的な知識・対応を用いて症状の緩和・進行予防に努め、その家族等介護者の相談に対応していく。</p>
<p>重点 目 標 (・実 施 計 画)</p>	<p>実 施 報 告</p>
<p>1. 利用者のニーズに応じたサービスの提供と介護者の介護負担の軽減 (・家族や居宅介護支援事業所等と連絡を密にし、利用者の状態を把握し、利用者が希望し必要とするサービスを提供する。 (・介護者の介護負担軽減につながるサービスを提供する。) (・季節に応じた行事等を行い、四季を感じ、また生きがいを感じられるようサービスの提供に努める。) (・定期的にケアカンファレンスを行い、多職種協同で通所介護計画書を作成し、見直し改善を図り、利用者の状態に合ったサービスを提供する。)</p>	<p>※家族や居宅介護支援事業所等と連絡を密にし、利用者の状態把握、情報共有を図り、利用者が希望し必要とするサービスの提供に努めた。 ※介護者の介護負担軽減につながるサービスの提供に努めた。 ※レクリエーション等内容の充実を図り、楽しく過ごせる時間の提供と、季節に応じた行事等を行い、四季を感じ、生きがいを感じられるようなサービスの提供に努めた。 ※定期的にケアカンファレンスを行い、多職種協同で通所介護計画書を作成し、見直し改善を図り、利用者の状態に合った、サービスや個別機能訓練の提供に努めた。</p>
<p>2. 研修等への積極的な参加 (・施設外研修に積極的に参加し、研修報告の勉強会を開催するなどして、知識及び技術の向上に努める。)</p>	<p>※積極的に研修に参加することができ、報告会を開催するなど、知識及び技術の向上に努めることができた。</p>
<p>3. 苦情処理の対応 (・利用者及び家族等から苦情があった場合には直ちに対処するとともに、苦情解決委員会設置要綱に基づき、速やかな解決に努める。)</p>	<p>※利用者及び家族等からの苦情には直に対処するとともに、苦情解決委員会設置要綱に基づき、速やかな解決に努めた。</p>
<p>4. 事故対応 (・事故が発生した場合は、マニュアルに基づき速やかに対処し、解決に努める。) (・事故が発生した場合には、事故のシミュレーションによる検討を行い、再発防止につなげる。)</p>	<p>※事故の発生には、マニュアルに基づき速やかに対処し、解決するように努め、シミュレーションによる検討会を行い、再発防止に努めた。</p>
<p>5. 給食 健康の維持・増進のため、利用者への適切な食事提供に努める。 個々のQOL (生活の質) の向上に努める。 (・利用者の健康状態に合わせた適切な栄養量・食態などを考慮し、食事提供する。) (・利用者の嗜好に合わせ、代替食の提供、月2回の行事食など、季節感のある豊かな食生活を過ごしていただく。)</p>	<p>※利用時は、必ず健康状態や嗜好調査などの食事箋の指示に従い適切な食事提供や又代替食を提供し、月平均2回の行事食も実施して食べて頂いた。</p>

平成 30 年 度 事 業 報 告

施設名：居宅介護支援事業所 聖徳荘

(居宅介護支援事業)

<p>運営方針</p>	<p>在宅において、利用者様ひとりひとりが安心してその人らしく暮らせるよう自立支援に努め、大切な人達との絆を大切にする。</p>	
<p>重点目標（・実施計画）</p>	<p>※ 実施報告</p>	
<p>1. 居宅サービスが円滑に提供できるよう、居宅サービス提供事業者及び利用者のかかりつけ医師等との連携を図る。 (・関係機関との連携を密にとる。)</p>	<p>※医師や関係機関との連携が出来るだけ取るように努力することができた。</p>	
<p>2. 個別のニーズに対応し、その人らしさを組み入れた居宅サービス計画を作成する。 (・ニーズに応じたサービス計画書の作成。)</p>	<p>※本人・家族の視点になり各事業所と連携を図り、居宅サービス計画を作成することができた。</p>	
<p>3. 多様なニーズに応えられるよう、研修会等に参加し、資質の向上に努める。 (・研修会等への積極的参加。) (・利用者様家族等が安心して相談に応じられるようにする。)</p>	<p>※施設見学などへ参加し、資質の向上に努めることができた。 ※安心して相談できる環境作りに努めた。</p>	

[研修会参加一覧]

社会福祉法人以和貴会
-平成30年度事業報告-

No.	期間	研修名	主催	部署	出席人数	職種
1	H30 04月20日	いわき集団栄養給食研究会総会	いわき集団栄養給食研究会	特養	1	管理栄養士
2	05月14日	H30年度福島県社協 老人福祉施設協議会施設部会いわき支部総会	福島県老人福祉施設協議会施設部会	特養	1	施設長
3	05月16日	「施設従事者等による虐待防止」研修	いわき市保健福祉部 保健福祉課 権利擁護・成年後見センター	特養	1	統括主任生活相談員
4	05月24日	H30年度新規学卒求人説明会	平職業安定所	特養	1	施設長
5	05月28日	第1回 福祉推進会	社福) いわき市社会福祉協議会 内郷地区協議会	特養	1	施設長
6	05月29日	H30年度介護保険サービス事業所等集団指導講習会	いわき市役所保健福祉課 法人指導係	特養	2	統括主任生活相談員
				デイ	2	生活相談員 主任事務員
7	05月30日	H30年度介護保険サービス事業所等集団指導講習会	いわき市役所保健福祉課 法人指導係	居宅	1	介護支援専門員
8	06月21日	H30年度第1回地域保健関係職員等研修会 「栄養改善担当者」	いわき市保健所地域保健課	特養	1	管理栄養士
9	06月25日	いわき市住民支え合い活動づくり事業「内郷地区第2層協議体」第4回会議	社福) いわき市社会福祉協議会 内郷地区協議会	特養	1	施設長
10	06月26日	H30年度 安全運転管理者等講習会	福島県公安委員会 (社)福島県安全運転管理者協会	特養	1	施設長
11	07月02日	H30年度 老人福祉施設職員研修 I	社福) 福島県社会福祉協議会	特養	1	介護員
12	07月04日	H30年度県社協 経営者協議会総会及び全国社会福祉法人経営者協議会との共催セミナー (前期)	社福) 福島県社会福祉協議会 経営者協議会	特養	1	施設長
13	07月13日	いわき集団栄養給食研究会	いわき集団栄養給食研究会	特養	1	管理栄養士
14	07月20日	H30年度 福島県老福祉施設協議会 デイサービスセンター部会総会	一般社団法人福島県老人福祉施設協議会 デイサービスセンター部会 いわき支部	デイ	1	生活相談員
15	07月24日	H30年度 社会福祉法人事務長等研修	社福) 福島県社会福祉協議会 人材研修課	特養	1	施設長
16	07月31日	研究・研修委員会 (第1回)	社福) 福島県社会福祉協議会	デイ	1	生活相談員
17	08月02日	労働力調査員事務説明会	福島県統計課	特養	1	介護支援専門員
18	08月17日	H30年度 福島県老人福祉施設協議会 介護支援専門員研修会	一般社団法人 福島県老人福祉施設協議会	特養	1	介護支援専門員
19	09月04日	福島県老人福祉協議会 21世紀委員会 及び研究・研修委員合同会議	一般社団法人 福島県老人福祉施設協議会	デイ	1	生活相談員
20	09月19日	「施設における身体的虐待・身体拘束防止」	いわき市保健福祉部 保健福祉課 権利擁護・成年後見センター	特養	1	介護支援専門員
21		平成30年度「虐待に関する勉強会」	内郷・好間・三和地区 包括支援センター	デイ	3	生活相談員 介護員

〔研修会参加一覧〕

社会福祉法人 以和貴会
-平成30年度事業報告-

No.	期間	研修名	主催	部署	出席人数	職種
22	09月20日	高齢者福祉施設における虐待防止研修	福島県高齢福祉課	特養	1	施設長
23	09月21日	H30年度「給食担当職員研修会」	一般社団法人 福島県老人福祉施設協議会	特養	1	管理栄養士
24	09月27日	H30年度「医務担当職員研修会」	一般社団法人 福島県老人福祉施設協議会	特養	1	看護師
25	10月03日	H30年度「社会福祉法人の地域における公益的な取組」推進セミナー	社福) 福島県社会福祉協議会	特養	1	施設長
26	10月09日	労働力調査員審査会	福島県統計課	特養	1	介護支援専門員
27	10月15日	平成30年度「生活相談員研修会」	一般社団法人 福島県老人福祉施設協議会	特養	1	統括主任生活相談員
28	10月18日	H30年度 機能訓練指導員研修会 (～19日)	一般社団法人 福島県老人福祉施設協議会	特養	1	看護師
29	10月25日	H30年度 第2回 施設長会議	福島県老人福祉施設協議会 いわき支部	特養	1	施設長
30	10月29日	いわき市住民支え合い活動づくり事業「内郷地区第2層協議体」第5回会議	社福) いわき市社会福祉協議会 内郷地区協議会	特養	1	施設長
31	10月31日	H30年度 社会福祉施設栄養士研修	社福) 福島県社会福祉協議会	特養	1	管理栄養士
32	11月06日	いわき集団栄養給食研究会	いわき集団栄養給食研究会	特養	1	管理栄養士
33	11月09日	H30年度「主任介護員研修会」	一般社団法人 福島県老人福祉施設協議会	特養	2	介護主任 介護副主任
34	11月15日	社会福祉施設等における感染症予防対策研修会	いわき市保健所 地域保健課 感染症対策係	特養	1	看護師
35	11月21日	H30年度福島県身体拘束廃止推進セミナー	福島県保健福祉部 高齢福祉課	特養	1	施設長
36	11月22日	H30年度 結核対策研修会	いわき市保健所 地域保健課 感染症対策係	特養	2	看護師
37	11月26日	魅力ある職場づくり推進セミナー 2018～働き方改革関連対応～	福島県労働局雇用環境・均等室	特養	1	施設長
38	11月29日	H30年度第2回地域保健関係職員等研修会「栄養改善担当者」	いわき市保健所地域保健課	特養	1	管理栄養士
39	11月30日	H30年度「事務担当者研修会」	一般社団法人 福島県老人福祉施設協議会	特養	1	主任事務員
40	12月14日	H30年度 福島県社会福祉法人経営者協議会並びに全国社会福祉法人経営者協議会との共催セミナー(後期)	社福) 福島県社会福祉協議会 経営者協議会	特養	1	施設長
41	12月17日	H30年度「施設長会議」及び「行政との事務担当者会議」	福島県社会福祉協議会 老人福祉施設協議会 施設部会いわき支部	特養	2	施設長 介護支援専門員
42	01月11日	H30年度 福島県認知症介護実践者研修(～12日)	福島県保健福祉部 高齢福祉課	特養	1	統括主任生活相談員

[研修会参加一覧]

社会福祉法人 以和貴会
-平成30年度事業報告-

No.	期間	研修名	主催	部署	出席人数	職種
43	01月15日	H30年度 福島県認知症介護実践者研修 (~17日)	福島県保健福祉部 高齢福祉課	特養	1	統括主任生活相談員
44	02月07日	一般社団法人福島県老人福祉施設協議会 デイサービスセンター部会いわき支 臨時 総会	一般社団法人福島県老人福祉施設協議会 デイサービスセンター部会 いわき支部	デイ	1	生活相談員
45	H31 02月12日	魅力ある職場づくり 経験交流会	公益財団法人 介護労働安定センター 福島支所	特養	1	施設長
46	02月16日	H30年度 福島県認知症介護実践者研修	福島県保健福祉部 高齢福祉課	特養	1	統括主任生活相談員
47	02月20日	H30年度第3回地域保健関係職員等研修会「栄養改善担当者」	いわき市保健所地域保健課	特養	1	管理栄養士
48	02月21日	H30年度福島県老人福祉施設協議会 第2回総会並びに施設長研修会	一般社団法人 福島県老人福祉施設協議会	特養	1	施設長
49	02月25日	いわき市住民支え合い活動づくり事業 「内郷地区第2層協議体」第6回会議	社福) いわき市社会福祉協議会 内郷地区協議会	特養	1	施設長
50		「ふくしまップ」作成会議	いわき市社会福祉協議会	特養	1	施設長
51	03月04日	H30年度福島県老人福祉施設協議会 「介護職員研修(4年以上)」	一般社団法人 福島県老人福祉施設協議会	特養	2	介護員
52	03月05日	H30年度福島県老人福祉施設協議会 いわき支部 職員合同研修会	福島県老人福祉施設協議会 特養部会・デイサービスセンター部会 いわき支部	特養	3	統括主任生活相談員 介護支援専門員 管理栄養士
53	03月14日	H30年度福島県社会福祉協議会 社会 福祉法人経営者協議会総会 (第2回)	社福) 福島県社会福祉協議会 経営者協議会	特養	1	施設長
54	03月20日	認知症地域相談窓口対応職員研修会	内郷・好間・三和地区 包括支援センター	特養	1	施設長
55						
56						
57						
58						
59						
60						
* 合計					65	名
* 内訳					本部	0 名
					特養	55 名
					デイ	9 名
					居宅	1 名